ヘアドライヤーのテスト結果（北陸三県共同テスト）

１　目的

ヘアドライヤーは、日常生活で使用する家電製品として広く普及しており、毛髪を迅速に乾かすために、温風温度や風量等が調整できる製品も販売されている。一方で、「使用中に異常音がした後に、黒い粉が飛び散った」、「コンセント部から火花が出た」等の相談も寄せられている。

そこで、北陸三県（富山県、石川県、福井県）の消費生活（支援）センターが共同で、ヘアドライヤーの表示や安全性、性能、使用性のテストを行うとともに、県民の意識調査も行い、購入時や使用時の留意点を消費者に情報提供する。

２　テスト実施機関

富山県消費生活センター、石川県消費生活支援センター、福井県消費生活センター

３　テスト期間

平成 29 年 11 月～平成 30 年 3 月

４　テスト対象品（表 1）

北陸三県の家電量販店等で購入したヘアドライヤー6 銘柄

No. 1　　No. 2　　No. 3　　No. 4　　No. 5　　No. 6

５　テスト項目

電気用品安全法、日本工業規格「ヘヤドライヤ（JIS C 9613）」（以下、「規格」という。）及び第三者認証機関によるＳマーク認証基準等に準じ、または参考にして表示事項、仕様等を確認し、安全性、性能、使用性のテストを行うとともに、県民の意識調査も行った。

６　テスト方法及びテスト結果

（１）表示事項（表 1）

①　電気用品安全法に基づく表示事項

電気用品安全法に定められている、定格電圧、定格消費電力、定格周波数、事業者名及び適合性検査済みであることを示す PSE マークは全銘柄で表示されていた。

②　第三者認証制度に基づく表示事項（S マーク）

電気製品の安全のため、電気製品認証協議会が取得を推奨しており、第三者認証機関が製品試験や品質管理の調査を行い、安全性を客観的に確認したことを示すＳマークは、任意であるが、4 銘柄で表示されていた。

③　「安全上の注意」の主な内容

安全に使用するための注意が多岐にわたり記載されており、

・電源コードを束ねたままで使用しない
・収納時に電源コードを本体に巻きつけない
・使用後は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する
・乳幼児の手の届く場所で使用しない
・ぬれた手で使用しない

等が、特に注意が必要な事項として全銘柄で記載されていた。

表１　テスト対象品の主な表示事項及び仕様等

No.		1	2	3	4	5	6
税込み価格（円）		1,728	13,824	5,940	2,052	3,002	5,400
定格電圧（V）		AC100	AC100	AC100	AC100	AC100	AC100
定格消費電力（W）	表示	1200	1200	1200	1200	1300	1300
	実測	1157	1170	1150	1120	1237	1380
定格周波数（Hz）		50/60	50/60	50/60	50/60	50/60	50/60
PSE マーク		○	○	○	○	○	○
S マーク		―	○	○	○	○	―
外形寸法 高さ×幅×奥行き（mm）	表示	208×197×76	―	―	218×232×88	215×210×85	283×220×90
	実測	207×197×76	217×195×79	213×200×87	216×233×89	215×205×85	283×220×88
本体重量（g）	表示	440	475	470	460	515	540
	実測	446	455	472	476	523	549
電源コード長さ（m）	表示	1.8	1.7	―	1.7	1.7	1.7
	実測	1.9	1.7	1.6	1.7	1.7	1.7
吸込口の直径（mm）	実測	52	47	53	49	53	57

（２）仕様等（表 1）

外形寸法、電源コード長さ及び吸込口の直径は、デジタルノギス、メジャー及び鋼尺を用いて測定し、重量は、上皿電子天秤を用いて測定した。

（３）安全性

スイッチで温風温度等の切り替えができる銘柄は消費電力が最大になるように設定し、実際に使用する時の状況を考慮して、吹出口にアタッチメント等を取り付けた状態で測定を行った。

① 表面温度（表 2）

ヘアドライヤーをスタンドに固定し 30 分間稼働させ、各部（側面、取っ手、スイッチ及びプラグ）の最高温度を測定した。

側面の温度は、25.5～29.5℃であり、規格に定められている基準（以下、「規格基準」という。）（70℃以下）を全銘柄で満たしていた。

取っ手の温度は、25.3～44.8℃であり、規格基準（60℃以下）を全銘柄で満たしていた。

スイッチの温度は、28.9～36.4℃であり、規格基準（75℃以下）を全銘柄で満たしていた。

プラグには規格基準は定められていないが、参考に測定したところ、温度は 36.2～50.0℃であり、側面、取っ手及びスイッチよりも高い温度であった。

② 温風温度（図 1）

ヘアドライヤーをスタンドに固定し、吹出口から 30～200mm の距離に設置した銅板に温風を直角に当て、最高温度を測定した。

全銘柄で、吹出口から測定部までの距離が大きくなるほど温度が低くなったが、No.3 のように、30mm と 100mm の位置における温風に約 30℃の温度差がある銘柄もあり、一定距離以下になると急激に温度が上昇するため、使用時には毛髪に近づけすぎないよう注意することが必要である。

表 2　表面温度

（単位：℃）

No.	側面	取っ手	スイッチ	プラグ
1	27.4	31.1	31.4	38.8
2	26.5	33.2	36.4	36.2
3	28.0	31.1	32.9	46.7
4	25.7	25.3	28.9	50.0
5	25.5	33.6	33.0	45.8
6	29.5	44.8	30.3	42.1

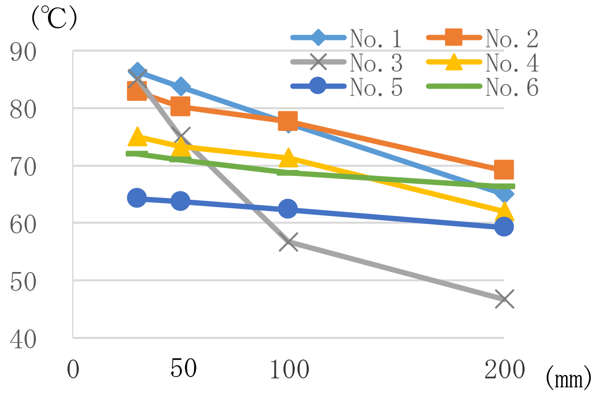

図 1　吹出口からの距離と温風温度

③ 騒音（表 3）

ヘアドライヤーを厚さ 5mm のフェルトを敷いたスタンドに固定し、騒音が最大になるようにヘアドライヤーの側面に接する位置に置いた騒音計で測定した。

騒音は、80～92dB であり、風速が大きな銘柄ほど騒音も大きくなる傾向が見られた。

表 3　騒音

（単位：ｄＢ）

No.	1	2	3	4	5	6
測定値	88.8	84.0	80.0	84.5	92.0	88.8

（４）性能

① 消費電力（表 1）

消費電力は、電力計を用いて測定し、定格消費電力と比較した。

表示されている定格消費電力と比べて 93～106%であり、規格基準(定格消費電力の 90～110％の範囲) を全銘柄で満たしていた。

② 風速（図 2）

ヘアドライヤーをスタンドに固定し、吹出口から 200～500mm の距離に設置した風速計を用いて測定した。

全銘柄で、吹出口から測定部までの距離が大きくなるほど風速が小さくなった。なお、規格基準（30mm 位置において 5m/秒以上）は全銘柄で満たしていると推測される。

③ 乾燥能力（図 3）

ヘアドライヤーをスタンドに固定し、水に湿潤させた馬毛を吹出口から 50mm 離れた場所に配置し、上方向から温風を 2 分間当てて乾燥させた。乾燥前後での馬毛の重量を、上皿電子天秤で測定し、吸収した水分量と乾燥した水分量の比から、乾燥能力を算出した。

乾燥能力は、55.5～90.3％と、銘柄間で 1.6 倍の差があった。

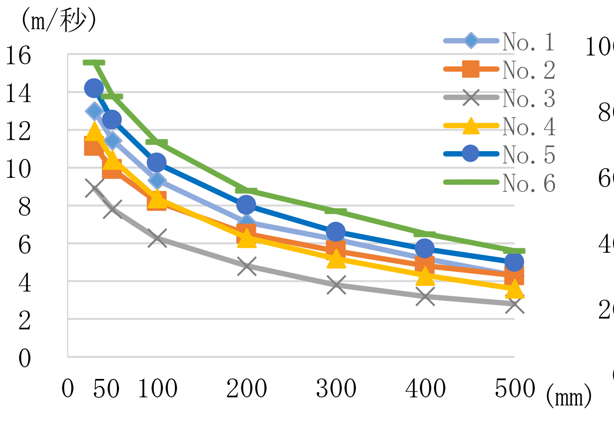

図 2　吹出口からの距離と風速

※30,50,100mm の値については、

風速計の耐熱性により、計算値を算出した。

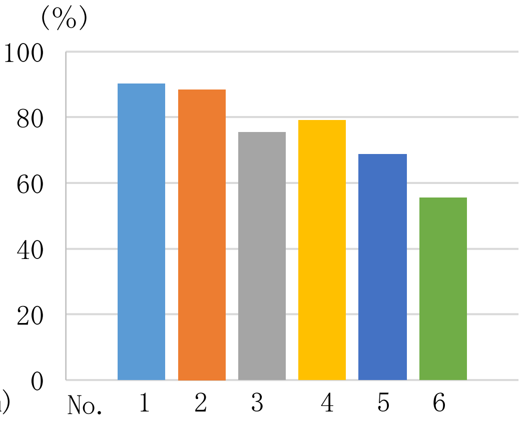

図 3　乾燥能力

（５）使用性

9 人のモニターがヘアドライヤーを操作し、評価した。

「本体の警告表示等はわかりやすいか」では、絵表示が使われている銘柄の評価が高かった。

「本体の電源スイッチ等の表示はわかりやすいか」では、ヘアドライヤー本体の色と電源スイッチのコントラストが強い銘柄の評価が高かった。

「取扱説明書はわかりやすいか（文字、図等）」では、文字が大きく、冊子になっている銘柄や、絵表示が多く使われている銘柄の評価が高かった。

「本体は持ちやすいか（重さ、バランス等）」では、取っ手が持ちやすく、バランスが良い銘柄の評価が高かった。

「電源スイッチ等は操作しやすいか」では、スイッチを動かしやすい銘柄や、温風と冷風の切り替えスイッチが別になっている銘柄の評価が高かった。

「電源コードの長さは十分か」では、コード長さに大差はなく、評価は同程度であった。

「温風温度は適当か」では、温風温度が高すぎない銘柄の評価が高かった。

「風量は適当か」では、風量が大きく、切り替えが多い銘柄の評価が高かった。

「手入れはしやすいか（吸込口、吹出口）」では、吸込口が平坦な銘柄の評価が高かった。

「収納はしやすいか（折りたたみはしやすいか）」では、取っ手を動かしやすい銘柄の評価が高かった。

（６）ヘアドライヤーの意識調査

①　回答者の年代別、性別、職業別割合

回答者は 193 名であり、年代別では、「60 歳代」が 42%と最も多く、次いで「70 歳代」24%、「50 歳代」14%、「40 歳代」9%の順であった。

性別では、「女性」が 88%を占めた。

職業別では、「主婦」が 47%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」14%、「会社員」13%、「公務員」10%の順であった。

②　購入先

複数回答を求めたところ、「家電量販店」が 77%と最も多く、次いで「ホームセンター」16%、「デパート」、「ネット通販」、「わからない」、「その他」各 4%の順であった。

③　購入基準

複数回答を求めたところ、「機能（風量、風速など）」が 73%と最も多く、次いで「価格」52%、「重さ」、「メーカー」各 19%、「デザイン」10%の順であった。

④　購入価格

複数回答を求めたところ、「3,000～4,999 円」が 33%と最も多く、次いで「5,000～9,999 円」28%、「10,000～19,999 円」19%、「3,000 円未満」18%の順であった。

⑤　１週間中の使用頻度

「6～7 日」が 47%と最も多く、次いで「4～5 日」21%、「2～3 日」18%、「1 日」8%の順であった。

⑥　取扱説明書の確認

初めて使う前に、取扱説明書を「読んでいない」が 50%、「読んだ」が 47%であった。

⑦　電源コードの巻きつけ

収納する際、本体に電源コードを「巻きつけていない」が 63%、「巻きつけている」が 37%であった。

⑧　使用時のトラブル

複数回答を求めたところ、「特にない」が 80%と最も多く、次いで「吹出口から煙や異物などが出た」、「吸込口に髪の毛が吸い込まれた」各 7%、「その他」3%、「電源コードやコンセントから煙や火花が出た」2%の順であった。

⑨　使用時に心がけていること

複数回答を求めたところ、「使用後は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く」が 75%と最も多く、次いで「１ヶ所に温風をあてすぎない」46%、「コンセントは単独で使用する」38%、「使用中・使用直後に吹出口などに触らない」31%の順であった。

7　消費者へのアドバイス

テスト結果から、消費者が購入時や使用時に留意する主な点は以下のとおりである。

（1）購入時の留意点

① 銘柄によって温風温度や風速、安全機能等が異なるので、取扱説明書等を確認し自分に合ったものを選ぶ。

② 第三者認証機関が製品試験や品質管理の調査を行い、安全性が客観的に確認されたものにＳマークが表示できるので、より安全に使用したい場合はＳマークが表示された銘柄を選ぶ。

③ 絵表示が多く使われており、冊子になっている取扱説明書はわかりやすい、吸込口が平坦な銘柄は手入れがしやすい等の、モニターによる使用性テスト結果を参考にする。

（2）使用時の留意点

① 取扱説明書を確認して使用する。使い方を誤ると火災や怪我等の原因となる。

② 収納時に電源コードを本体に巻きつけない。電源コードが断線し、感電やショート等のおそれがある。

③ 吸込口や吹出口についたホコリや髪の毛等を歯ブラシ等で定期的に取り除く。詰まると異常過熱により発火するおそれがある。

④ 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。消費電力が大きいため、コンセントを他の器具と併用すると異常発熱により発火するおそれがある。

⑤ 使用後は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

⑥ 使用中や使用直後は、吹出口が高温になっているため触れない。また、プラグは本体側面等よりも高温になるため、取り扱いに十分注意する。